

---

## 岡山県労働組合会議



生活から安保条約を考えよう

アメリカ言いなりの経済を考える

---

2010年6月25日

岡山県労働者学習協会 長久啓太

ちょっとおさらい・・・

前回 (6/11) の学びは・・・



低い食料自給率・・・

医療保険も・・・

アフラックは「がん保険」も「医療保険」も  
選ばれて契約件数 **No.1**<sup>\*</sup>  
※平成20年版「インシュアランス生命保険統計号」より

生きる気持ちに、本気で応える  
**アフラックのがん保険**  
フォルタ

新登場/  
もっと頼れる医療保険  
**新EVER**  
エヴァー



木材も輸入中心・・・



商店街がさびれたワケ・・・



軍事的な側面だけでなく、私たちの生活の  
すみずみにまで、

日米関係のゆがみが影響している・・・！

その背景に・・・

安保条約 第2条

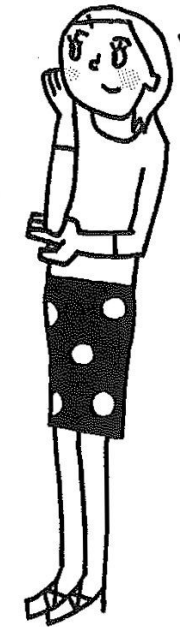
経済協力条項

## その内容の おさらい…

### ポイント①

日本もすばらしい資本主義（自由主義経済）の道をすすもうね

「締約国は、その自由な諸制度を強化することにより、これらの制度の基礎をなす原則の理解を促進することにより、並びに安定及び福祉の条件を助長することによって、平和的かつ友好的な国際関係の一層の発展に貢献する。締約国は、その国際経済政策におけるくい違いを除くことに努め、また、両国の間の経済的協力を促進する」



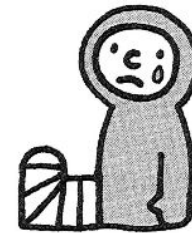
### ポイント②

日本は、アメリカの言うことに逆らわず、協力していこうね

びっくりな「アメリカいいなり状態」

## その⑤ー壊された働くルール

日本の働く労働者の現実・・・



### 非正規労働者の激増

1993年 **986万人** → 2008年 **1760万人**

### 年収200万円以下の働く貧困層（ワーキングプア）

1993年 **736万人** → 2008年 **1032万人**

こうした事態が起こってきた要因として、

## アメリカの日本への要求があった！！

アメリカ経済を強くするためには、  
アメリカの企業が世界的競争で  
勝利することが必要だ・・・。

おいしい

ターゲットのひとつは・・・



93年に大統領になったクリントン

# 「日本だ！」

その後、94年から毎年つくられたのが

## 『年次改革要望書』



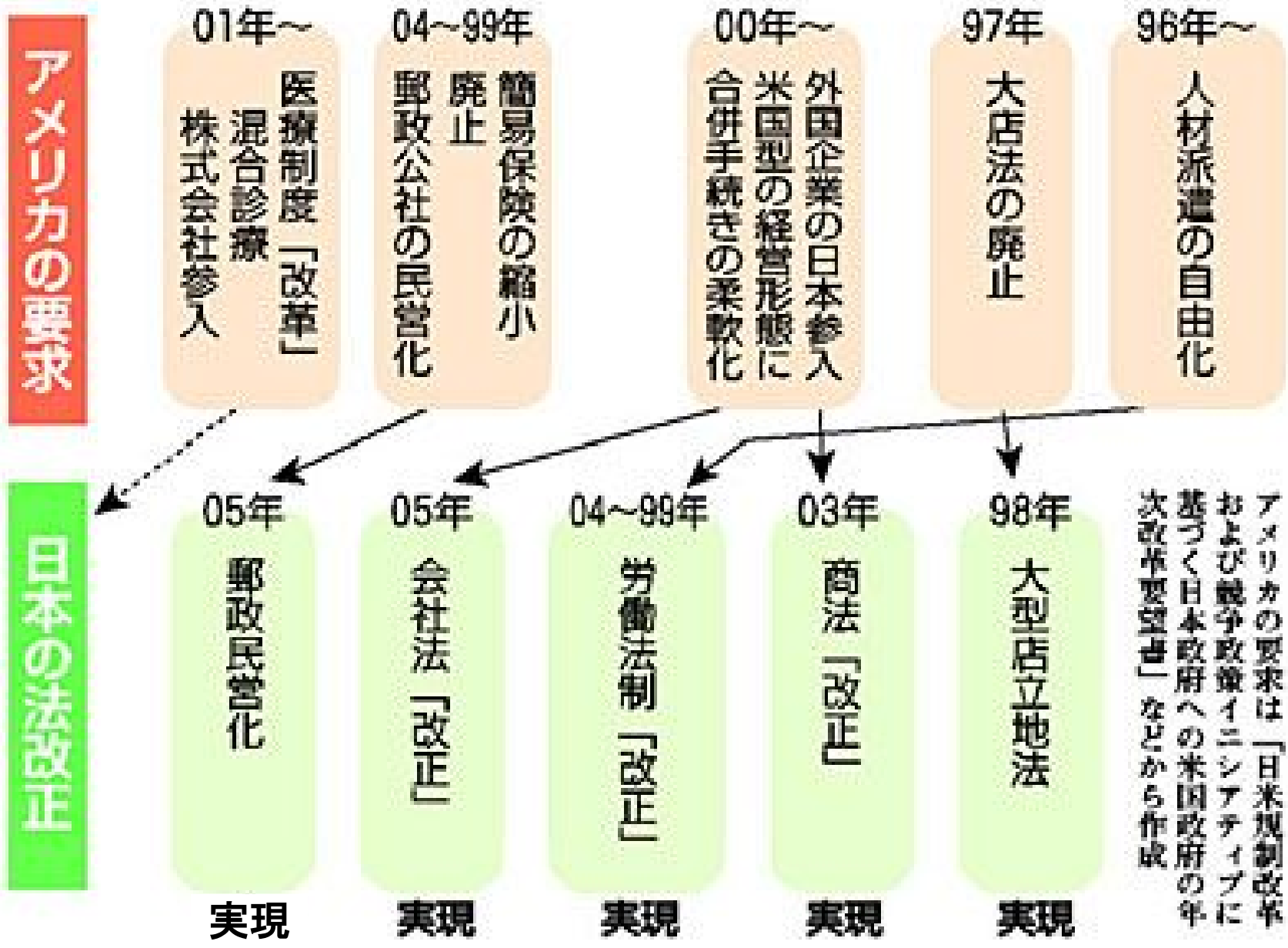
いわば、アメリカ企業にとって、儲けやすい、利益を最大限追及できる日本経済にするための、アメリカ側の**要求提出書**だった！！

そしてまた、拒否できない日本…

「これから数年後の日本に何が起きているか。それを知りたいと思ったとき、必読の文献がある。アメリカ政府が毎年10月に日本政府に突きつけてくる『年次改革要望書』である」

(関岡英之『拒否できない日本』文春新書、2004年)

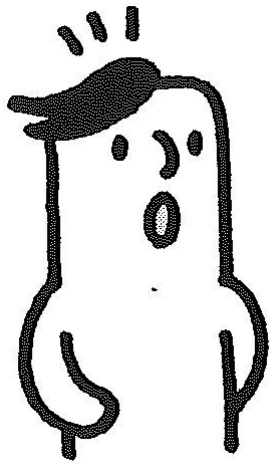
# アメリカの要求と日本の法改正





1996年の「年次改革要望書」では・・・

「日本の労働市場は、全般的に労働コストを高くし、労働者の移動を妨げるある種の特徴をもっている」とし、労働力の流動化を図り、低コストで労働者を雇うことのできる構造に転換すべきと主張。

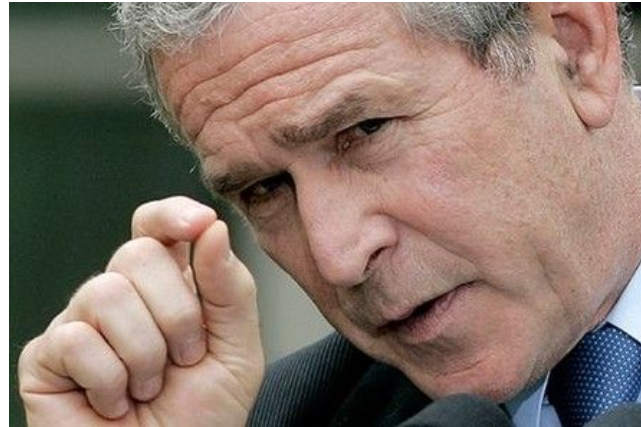


それに答える形で、日本の国会では、1999年、それまで26業種に限定されていた労働者派遣を、原則自由化してしまう。

(日本共産党以外の政党がこれに賛成)

さらにアメリカの異常な内政干渉はつづき・・・

「日本よ、もっと  
もうけさせろ」

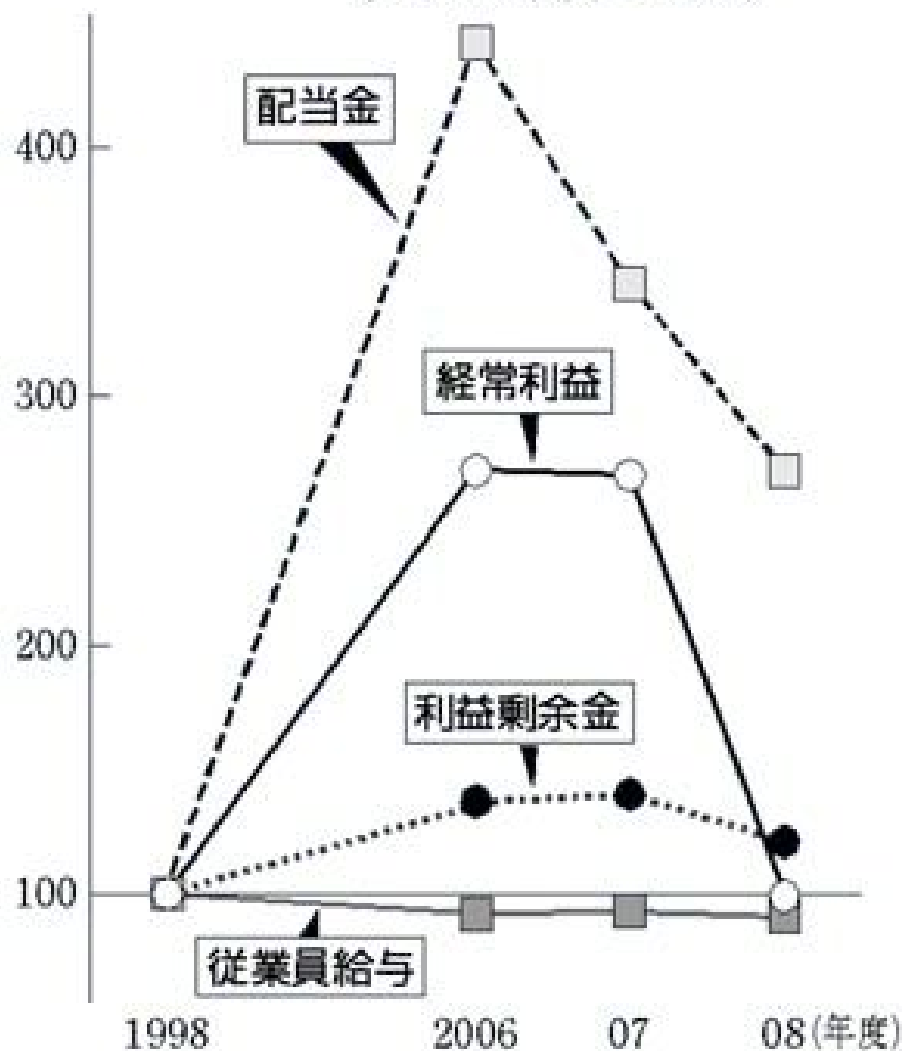


**会社法「改正」**。アメリカ資本が投資する際に多用しているM&A(企業合併・買収)が容易にできるように。

外国からの対日投資の急速な増加。**株式保有の外資保有率の上昇**。アメリカ資本は日本企業の株式取得をすすめ、いまでは日本の名だたる企業で外国人持ち株比率が3割をこえているところが多い。

そして日本企業の経営に変化が。株主配当が重視されるようになり。アメリカ仕込みの“株主資本主義”の上陸。

## 経常利益、配当金などの推移 (1998年度=100)



財務省「法人企業統計」から作成。資本金10億円以上の製造業

また、未曾有の経済不況が日本経済をおそった2008年…。

「歯を食いしばって労働者の雇用を確保」したのではなく…

「**歯を食いしばって配当金は確保させていただきました**」という、経営モラルの喪失。

労働者の首をきり、賃金を抑えても、株主配当は維持か増額。

しかも、日本では株の配当金にかかる税率が10%と低い…。

びっくりな「アメリカいいなり状態」

## その⑥ー**郵政**はなんで民営化された？

こちらも基本構造は同じ・・・

アメリカの要求書『年次改革要望書』どおりに、すすめられた。

郵政を民営化をすることによって、アメリカ資本に、巨大なビジネスチャンスがおとずれる・・・！

官営の貯金事業（郵貯）、保険事業（簡保）を解体させ、その国民資産をめぐっての、巨大な利益争奪のチャンスが生まれる。



# 「民営化でサービスも向上」

・・・したたろうか？



簡易郵便局の閉鎖・・・

集配郵便局の統廃合・・・

そのしわ寄せは過疎地域や地方に

送金手数料も値上げ・・・（イタイ！）

びっくりな「アメリカいいなり状態」

## その⑦ーアメリカを支える**日本マネー**

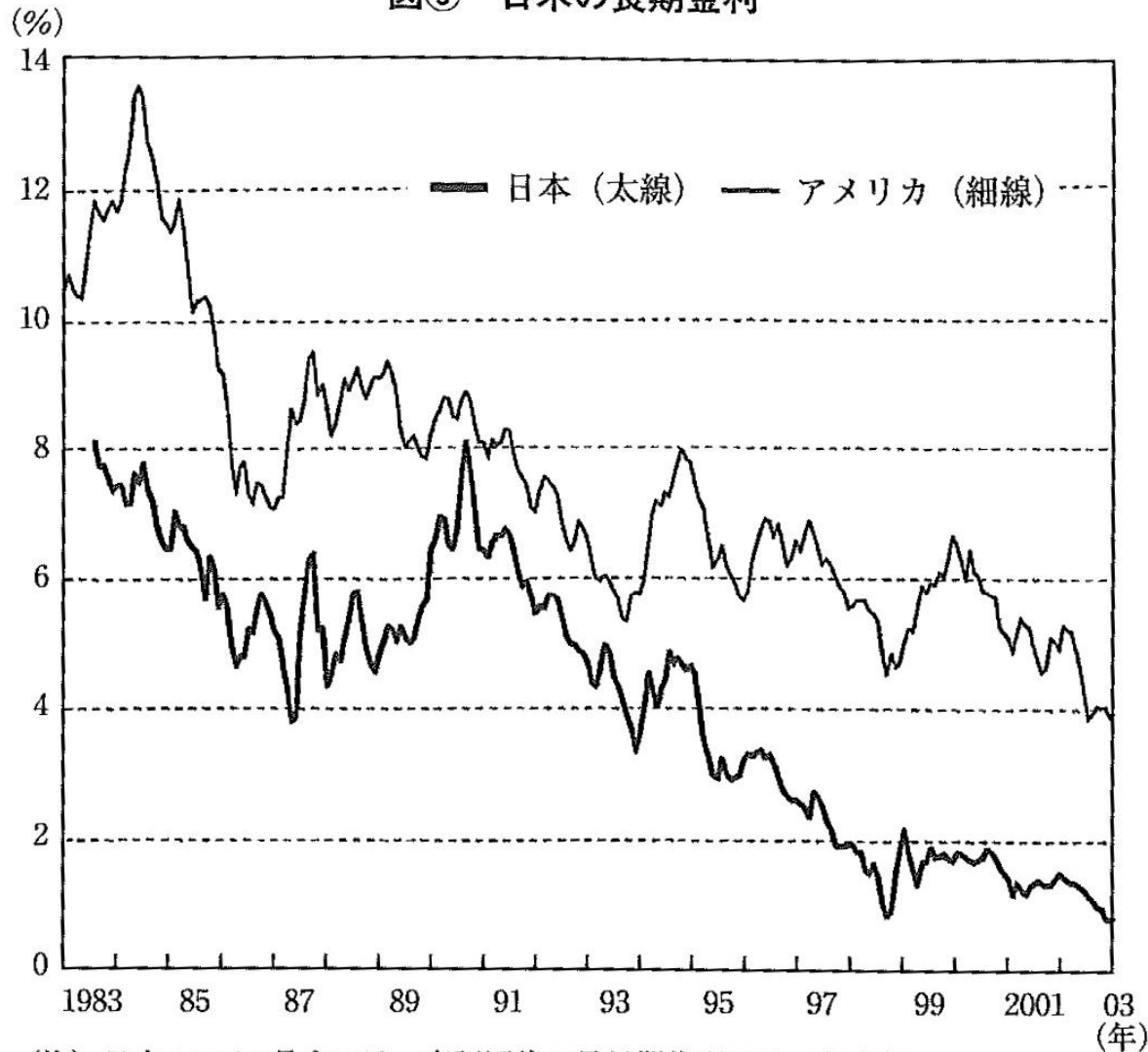
アメリカは、現在深刻な財政危機にある。

その最大の要因は、戦費・国防費の増額。（オバマ政権下の2011会計予算でも、国防費は7082億ドル。うち戦費は1593億ドル）。

**米政府は、深刻な財政赤字のなかで、膨大な国債を発行している。**

その有力な買い手のひとつが、日本の政府や銀行。アメリカ国債の海外売却分の20%が、日本。この日本マネーが、アメリカの戦争を支えているという構図。

図③ 日米の長期金利



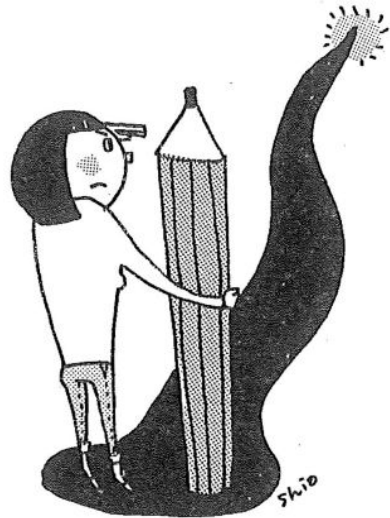
(注) 日本：85/12月までは、東証国債の最長期物利回りの月末値  
86/1月～98/12月までは、東証国債の最長期物利回りの月平均値  
99/1月からは、新発物の月平均値  
アメリカ：10年物国債利回りの月平均値

(出所) 日銀資料

日本の低金利政策も、アメリカとの合意。

90年代の低金利、「ゼロ金利政策」で国民が失った利子所得は約30兆円といわれている。

どこまでもどこまでも、アメリカ言いなり。  
こんな先進国は、どこにもありません！



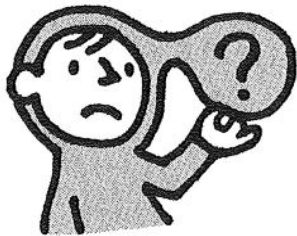
しっかり学べば、  
「おかしいな！」と見えてくる。



きのう始まった参議院選挙…

7月11日投開票。

参議院議員の半分（121人）を選ぶ選挙です。



国会議員の仕事ってなんだろう。

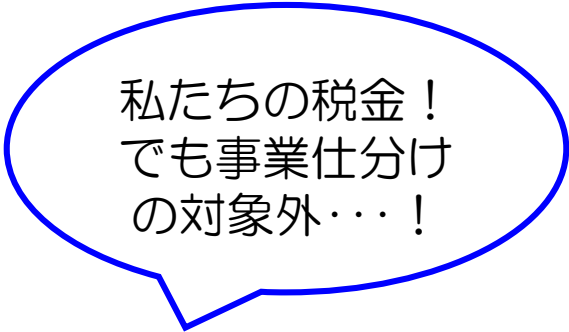
◇法律をつくります。

◇予算をつくります（税金の集め方・  
使い方を決めます）。

その基準は、日本国憲法☆

これって、おかしくない？（2010年度国家予算）

グアムへの米海兵隊移転費  
在日米軍「思いやり予算」  
など、



私たちの税金！  
でも事業仕分け  
の対象外・・・！

過去最高の米軍関連費、その額 **3370億円！**

この予算に賛成した政党・・・民主党、社民党、国民新党  
米軍関連費を増やし続けてきた政党・・・自民党、公明党

## 日本国憲法 前文より

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて**自由のもたらす恵沢を確保し**、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起こることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。**そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。**

アメリカいいなりではない、  
政治を選択しよう



かしこい  
主権者に！

## さいごに

次回は7月9日。

安保の本質にせまる**DVD**上映です。

